

# 本気で、遊べ

遊びいつでも、生半可なものじゃない。  
全神経を使って、  
全体力を使って、  
真面目に、本気で取り組むことが  
遊びなんだ。

小学校の頃感じていた、

ワクワクしていても立ってもいられないような、  
毎日がキラキラしていたような、  
何もかもが新鮮で楽しかった日々を  
大人になっても続けられるはずなんだ。

そんな最高の時代に、僕らは生きている。

# 本気の遊びを見つける

あなたは空いた時間って何してる？

TVを見る  
漫画を読む  
雑誌を見る  
飲みに行く  
etc

いろいろあるかもしれないし、  
これらもとても大事な時間だ。

しかし、僕がいう遊びってというのは  
ちょっとだけ違う。

僕がいう遊びってものを定義してみよう。

## 遊びの定義

- ・自分が大好きなもの
- ・クリエイティビティがある
- ・その瞬間、時間を忘れて没頭できる
- ・終わった後、満足感がある
- ・すぐにまたやりたくなる
- ・あらゆる時間に、遊びのことを考える
- ・他の人に何を言われようが、気にならない

## 遊びを最優先事項にする

もちろん、人生だから、  
やらなければいけないこと  
(つまらない仕事とか、付き合いとか)  
も沢山ある。

でも、自分がやりたくて、楽しくて  
ワクワクすることがあるのなら。

早くやりたくないことを終わらせて、  
無駄な飲み会も断って、  
一秒でも早く、一瞬でも早く、  
遊びに取り掛かりたいって  
気持ちになると思わない？

これを毎日やっていると、  
面白いくらいに、  
仕事をできるようになる。

# 本気で遊んでると仕事もうまくいく

真面目に遊ぶって、実は  
仕事と同じなんだ。

仕事に、楽しさとかワクワク感とか  
充足感が伴うと、本気の遊び。

例えば、僕の今の遊びはカメラな訳だけど  
（いくつかある遊びのうちの一つ）  
空いた時間にはどうすれば  
うまく写真がとれるのかを  
調べたり、他の人の作品を見たり、  
自分が写真でなにを表現したいかを考えたりする。

そして、考えたことを試してみる。

結果を見る。

修正する。

これってPDCAサイクルでしょ？

この思考と行動、結果と、修正までの  
循環を学べるのが、遊びなんだ。  
それも、本気の遊びなんだ。

だから、本気で遊べる人は  
仕事ができる。

遊びでやってることを、  
仕事に応用すればいいだけだから。

本気で遊ぶ思考回路と試行精度が  
実は最高の仕事術を学ぶ場所。  
ビジネス書を読むとはわけが違う。  
自分専用にカスタマイズされた  
自分だけの仕事術（遊び術）だから。

そして、仕事ができると、  
遊びの時間は必然的に増える。

最高の好循環の出来上がりだ。

## 好きなことでお金を稼ぐ

これって最高のことだと思わない？

遊ぶために仕事をする。  
遊ぶために必要だからお金を稼ぐ。  
遊ぶために仕事の時間を削る。

人生の中の時間配分で、  
自分が嫌だと感じる瞬間を  
削り取って洗練していく。

しかし、だんだんと優先順位が  
変わってしまう瞬間がくる。

## なんのためのお金なの？

楽したいからとか  
安定したいからとか  
不労所得が欲しい

という人がいる。

で、その後どうしたいの？  
楽しんで、何をしたいの？  
安定して、どうしたいの？  
不労所得を得て、どうするの？

これを言われると、  
大体の人が、黙ってしまう。

この状態を僕は

第二のラッドレース

と呼んでいる。

個人事業主とか、  
経営者に多い。

生活に不自由しないだけの  
お金を稼いだ人が  
飛び込むラッドレース

(ゴールがない、ハムスターがカラカラするやつ)だ。

お金のために働くと、  
いつまでたっても不安は消えない。

不安だから、お金を稼ぐ。  
お金を稼ぐために投資して固定費が増える。  
不安が増えて、もっとお金を稼ぐ。  
もっともっと不安は大きくなる。  
この繰り返しになってしまう。

常に、

なんのためにお金を稼ぐのか？

を明確にする必要がある。

その答えは僕の中では、

真剣に遊ぶこと

遊ぶために、お金を稼ぐんだ。

常にその後どうしたいの？  
と自分に問いかけよう。

もっと遊びたい。

もっと遊んでどうするの？

もっともっと遊びたい。

もっともっと遊んで何するの？

もっともっともっと

遊ぶんだよ！

だってそれが幸せな瞬間だから。  
幸せな瞬間が続くのなら、  
それは幸せな人生だろう？

## 遊びつくすのには2通りある

- ・ 仕事に楽しみを見出して、遊びにする
- ・ 本気の遊びでお金を手にいれる

このどちらかになる。

### 会社の仕事を遊びにする

これはなかなか難しい。  
会社っていうのはやらなければならないこと、  
人間関係での付き合いが多すぎるから。

それでも仕事の中で  
楽しみを見つけることはできるはずだ。

せめて、  
月曜日の朝が憂鬱にはならないように、  
仕事の中で楽しみを見つけよう。

### 本気の遊びでお金を手にいれる

とにかく、遊ぶ。  
本気で遊ぶ。  
真面目に遊ぶ。

本気で遊ぶってそれだけで  
価値になる。

本気で遊べる人って実はそんなにいないから。

これからの時代に絶対に  
必要なのは、遊び。

生き残るために、  
必要なのが本気の遊びだ。

その理由を説明していこう。

# ロボットに仕事が奪われる

単純作業は全てロボットの仕事になる。  
つまり、総合的に人類には余暇が増える。

仕事がなくなって、自由になる時間が増える。  
つまり、総人口あたりの  
ニートが増えるってことだ。

その代わりに、収入も下がる。  
ロボットを買うような余裕のある人たちは  
もっともっと金銭的には裕福にはなるだろうけど、  
僕みたいな庶民はロボットを使う場も金銭的余裕も、  
必要もない。

ってことは  
ロボットに代わられるような仕事をしていると、  
仕事がなくなってしまう。

要は、ご飯が食べられなくなってしまふ。  
それは僕はけっこう困る。  
僕にとっては料理も遊びだから。

ある程度の収入は必要だから、  
確保する必要がある。

じゃあ、好きなことで、かつ、  
ロボットにとって代わられないために  
必要なスキルってなんだろう？

ロボットにできなくて、  
人間にできることを探していこう。



# ロボットにはできなくて、 僕ら人間にしかできないこと

いくつかあると思うけど、  
僕の中では大きく二つ。

## ・感情を乗っける

つまり、一生懸命やれってことだ。  
うまくいったら喜んで、  
うまくいかなかったら落ち込んで、  
次にできるようになって狂喜して。

本気でやらないと、  
感情って乗っからない。

本気でやると、  
言い訳できなくなるから。  
これって日々習慣にしないと  
けっこう厳しいことだったりする。

手を抜いていれば  
自分の中で言い訳できるから。

俺は本気出してないだけで、  
やればできる。

一番簡単な言い訳の完成だ。  
けど、その言葉を言っている自分が  
空っぽなのは、本当はわかっているだろう？

言い訳の挟まる隙間なんかなく、  
全力でやる習慣をつけていこう。

人間にしかできないことの、もう一つ。  
それは

## ・不完全さ

だ。  
ロボットは完璧にしかこなせない。

仕事バリバリで容姿端麗、  
非の打ちどころのない美人上司が

ちょっとおっちょこちょいだったりすると、  
いきなり魅力感じるでしょ？

完璧な超人より、  
身近に感じる人の方が  
魅力を感じる。

僕ら人間の仕事は、

不完全にすること。  
完璧じゃなくていい。  
というか完璧じゃない方がいい。

**完璧にこなすことは、  
ロボットにとって代わられる仕事だ。**

つまり、  
かっこつけんなってことだ。  
見栄をはるなってことだ。  
自分そのままのままでいいってことだ。

あなたは、ありのままのあなたが  
一番魅力的だから。  
それこそ、誰にも負けないくらい。

## 自分のメディア（作品）を持つ

- ・本気で取り組める遊びがあって、
- ・不完全さ（あなたらしさ）があって

そしたら、あと一つだけ必要なこと。

日記を、書く。  
あなた独自のメディアを持つことだ。

FACEBOOK

でも

Twitter

でも

instagram

でも

ブログ

でも

ロコミ

でも

今の時代は、  
なんでもいい。

全力で遊んでいて、  
あなたらしい魅力的なあなたの  
日々の日常を書き続ける。

それだけで十分ファンは集まる。

あなたの日記は  
あなたの人生という作品の発表の場だ。  
メディアを持つことも  
クリエイティビティを含む、  
遊びの一つだ。

画像にこだわっても  
文章にこだわっても  
デザインにこだわっても  
動画編集にこだわってもいい。

メディアを作ることは  
かなり面白い遊びの一つだ。

とことん、こだわれ。

ファンが集まれば、  
キャッシュが生まれる。

あなたは好きなことをやりながら、  
その日記を書くだけで、  
お金が手にはいるようになっていく。

ただし、落とし穴に気をつけよう。

## お金を稼ごうとしないこと

ここを間違えると大変なことになる。

楽しい遊びだったはずが、  
やりたくない仕事になってしまう。  
やらなければいけない仕事になってしまう。

スタンスとしては  
お金これで稼げたらラッキー  
くらいに思っておこう。

あなたは本来、  
全力で遊んでいるだけで幸せだったはずだ。

その楽しさを伝える延長でメディアをもつべきなんだ。

この前提が壊れるくらいなら、  
お金なんか稼ぐ必要はない。

メディアを作るのは、楽しいという感覚を常に持っていよう。

この前提だけ、  
絶対に壊れないようにしよう。

## 本気なれる遊びがないなら、 必死に探せ

今、絶対に取り組んでおかないと、  
大変なことになる。

科学技術の発展で、  
今はLINEでの  
コミュニケーションかもしれないが、  
ビデオ通話が当たり前になる。

ビデオ通話の次は、  
3Dでのホログラム通話が

当たり前になって、  
そこに感触や匂いや味も  
データとして乗つけられる時代がきつとくる。

仮想空間で会うこともありえるよね。

情報量が増えた仮想空間は、  
立派な現実だ。

そして、前述したように、  
ロボットが単純労働を  
請け負っていくために、  
人類の余暇は平均的に増える。

## 人間関係の形が大きく変わる

人が人に依存しやすくなるってことだ。

暇で時間を持て余すって実は結構きつい。  
何かに、誰かに依存してしまう。

恋人がいるのなら、  
時間は割と自由だし、  
電話（もしくは仮想空間）  
に行けばすぐにコミュニケーションが  
取れる時代がくる。

これってすごく依存しやすくなる。  
もしくは、誰かとずっと一緒に  
いられる状態が作られる。

暇なはずなのに、なんで連絡取れないの??

って状態が多くなる。

# 人間関係には適切な距離が必要不可欠なんだ。

お互いに自立した上で、  
その楽しみを  
増大するために一緒にいるんだよ。

お互いに自立してないのなら、ただの依存関係で、  
プラスの関係になんざ  
なりえない。

24時間べったり一緒なんて  
気持ちの悪い人間関係なんか  
ありえない。

「自分と相手」の線引きができないと、  
自分自身がわからなくなってしまうんだ。

その線引きをしてくれるのが

全力で取り組める遊び

なんだ。

あなたらしさ、と言い換えてもいい。

それを今うちに見つけておかないと、  
科学技術が発展する近未来では  
精神的に病んでしまう。

退職したあとをイメージするとわかりやすい。

定年退職後に  
鬱になる人が多いっていうけど、  
離婚する人が多いっていうけど、  
自分の時間を持てるっていう強さがないから、  
本気で取り組める遊びを知らないから、  
相手に依存してしまうからなんだ。

# 最高の時代がやってくる

最高の時代だと思わない？

全力で遊んでいれば、  
必然的に価値が生まれるのだから。

大好きなことを見つけよう。

とにかく、いろんなことをやってみよう。  
その中で、取捨選択して、削ぎ落とそう。  
残ったものがあなたの中で、本物だ。

本物が見つかったら、  
なにを差し置いても、  
全力で遊べ。

見方によってはきつい時代だ。  
見方を変えればこれ以上ない最高の時代だ。

この文章が、あなたの人生にとって、  
少しでも価値のあるものになるように願っています。

最後までお読みいただき、  
ありがとうございます。

織田